

にいがた労福協

＜ライフサポートセンター＞

No19 2014年10月24日
一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
E-mail: ni-rfk@bz04.plala.or.jp
URL http://www.niigataken-rofukukyo.com/
発行責任者 山田 太郎

県労福協／ろうきん福祉財団共催

2014にいがたワーク&ライフフォーラムin上越

～連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会をめざして～



山本副会長

このフォーラム開催にあたっては、労働者福祉運動に携わる諸団体をはじめ、地域課題に取

このフォーラムは、中央労福協が提唱する「労福協の理念と2020年ビジョン」連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて、昨年度から県労福協とろうきん福祉財団が連携し開催しているイベントです。

9月20日（土）～21日（日）、上越リージョンプラザおよびホテルハイマート周辺にて、「2014ワーク&ライフフォーラムin上越」を開催し、県内から約460名が参加しました。



り組むNPOや市民活動団体、自治体との連携をはかり、相互に補完しあうことでより大きな相乗効果を発揮できる可能性をめざしていくこととしています。

勇壮な名立太鼓のオープニングに続き、海図茅穂子総合司会の開会宣言に始まり、主催者を代表し実行委員長・羽深上越地区労福協会長より挨拶を行いました。

その後の基調講演では、「福祉はひとつく労福協とは」をテーマに、中央労福協・山本副会長より講演を受けました。



堀田力理事長

をいただきました。

講演では、労働者自主福祉運動の成り立ちを振り返る「当面する労働運動の課題」「労働者自主福祉運動の新たな展開に向けて」についてお話

その後、記念講演として、さわやか福祉財団理事長の堀田力氏から、「共助のちからに支えあう豊かな地域をめざして」をテーマにお話しをいただきました。講演では、新しい地域支援の仕組みづくりは、行政も住民も、「よい地域をつくりたい」という情熱が不可欠であり、地域の人たちの手で成し遂げなければならぬことなどが、話されました。

終了後の交流会は、予想外に多い参加者に会場は二カ所となり、二三元中継による大交流会となりました。

翌日は、労働運動、環境問題、少子高齢化、生活困窮、消費トラブル、歴史探索など、13のセッションが用意され、それぞれが関心のあるセッションに参加されました。次年度は新潟市で開催することを確認しフォーラムを終了しました。



働く人すべての福祉向上をめざして 新潟県地区労福協・ライフサポート代表者会議



8月20日（水）、地区労福協（10カ所）と地域ライフサポートセンター（8カ所）の代表者会議が開催されました。

通常総会後、最初の機関会議であり、各地区からの特徴的な活動報告とビジョン策定委員会最終報告の内容確認と報告書に基づく、地区労福協と地域ライフサポートセンターの一体化に向けた協議、「生活底上げ・福祉強化キャンペーン」を軸とした当面の取り組み等が確認されました。

地区労福協の組織と運動の強化は、スタートしたばかりであり、こうした会議を重ね相互に学び合い活動の発展に結びつけていくこととします。

2005年8月に「勤労者の暮らしにかかるサポート事業のための合意・確認」がされた「4団体合意（連合・労金協会・全労済・中央労福協）」から9年が経過しました。

人口減少・高齢化社会など社会構造の急激な変化の中で暮らしに関する不安が増大しています。

こうした今日の情勢の中でライフサポート（LSC）事業は、暮らしに関する不安を解消し「ゆとり・豊かさ」を追求する「協同の活動（事業）」として新たな局面を迎えています。

LSC事業は、労働組合、労働者自主福祉事業団体、NPO等が協力し、「勤労者の暮らし全般に関わるサポート事業」の具体的展開をはかり、持続可能な地域社会づくりに向けて、果たすべき役割を再度共有していくことが重要です。

連合新潟、役員セミナーを開催！
連合評価委員会最終報告、この提言を活かすために



そのためのセミナーとして、連合新潟は、8月9日（土）、ガレツソホールにおいて、構成組織および地協の役員63名を対象にセミナーを開催しました。

セミナーは、LSC事業スタートの契機となった連合評価委員会（最終報告）から、連合が実現をめざす理想の社会像「働くことを軸とする安心社会」、そして、「労福協の理念」と2020年ビジョン「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会へ」が掲げられていること等、参加者全体の理解を深めることができた。

今後は、参加された役員が組織内や地協運動の中で浸透を図る活動を進めていくこととなります。

そのためのセミナーとして、連合新潟は、8月9日（土）、ガレツソホールにおいて、構成組織および地協の役員63名を対象にセミナーを開催しました。

セミナーは、LSC事業スタートの契機となった連合評価委員会（最終報告）から、連合が実現をめざす理想の社会像「働くことを軸とする安心社会」、そして、「労福協の理念」と2020年ビジョン「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会へ」が掲げられていること等、参加者全体の理解を深めることができた。

今後は、参加された役員が組織内や地協運動の中で浸透を図る活動を進めていくこととなります。

勤労者の暮らしをサポート 育成会

(正式名称)
「勤労者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援・育成する会」

- 育成会は新潟労金に加入している団体会員（県内約2400会員）によって構成されています。
- 育成会には労金本支店所在地で活動する25の地区育成会があり、それぞれの地域で勤労者福祉の前進に関する諸活動を行っています。
- 育成会役員は各店舗ごとに設置された労金常任推進機構から選出されています。

夢咲Clubの案内

夢咲Clubは労金に加入していない勤労者や退職者の方々
が、労金を利用する際に加入いただくメンバーズクラブ
です。預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用ができます。

<ご加入資格>
県内に居住または勤務する勤労者等

<ご入会手続き>
最寄りの労金本支店で手続きできます。

新潟ろうきん財団調査研究事業・公開報告会

新潟における社会的企業の可能性

主催 新潟協同ネット
後援 新潟ろうきん福祉財団
 新潟県労福協

2014年8月2日(土)、クロスパルにいがた(新潟市障害学習センター)において、新潟ろうきん福祉財団の研究事業として、3月に社会的企業の先進実践地である韓国ソウル市を視察する中



で見えてきた課題などを題材として、新潟における社会的企業の可能性を模索する公開報告会が開催されました。

基調講演として、立教大学コミュニケーション福祉学部教授・藤井敦史氏から、

昨今、様々な地域社会課題解決を目的とした「社会的企業」に注目が集まっている中で、『闘う社会的企業』をテーマに講演を受けました。



その後、韓国ソウル市への視察団数名により、ビデオと体験報告など、新潟大学・渡辺教授をコーディネーターに藤井教授も含めパネルディスカッションが行われました。

社会的企業の起業研究は、ようやく尾に近づいたばかりであり、今後、市民自身による新しいコミュニティづくりと仕事づくりの一端として、新潟における社会的企業を共に考えていく機会となりました。

東部ブロック労福協主催
ライフサポート事業経験交流会

8月4日(月)～5日(火)、東部ブロック労福協主催のライフサポート事業経験交流会が茨城県水戸市(京成ホテル)で開催され、新潟県労福協からは、地域LSCコーディネーターなど6名が参加しました。

交流会は、各県で取り組んでいるLSC事業の特徴的事例や懸案事項等の報告があり、先進的な取り組みと解決・改善策を学ぶ機会となりました。

全体研修会では、法テラス茨城の足立所長(弁護士)から「法テラス・相談の特徴事例と昨今の相談傾向」をテーマに示唆に富む貴重な講演がありました。2日目は、「茨城県の少子化対策」をテーマに県少子化対策室より現状の取り組みと課題について報告がされました。

現在、中央労福協では、これまで全国で取り組まれているLSC事業の検証が行われており、昨今の厳しい社会情勢の中で、よりLSC事業の必要性を高めることと同時に新たな方針が検討されています。

(参加者 6名)

- 山田 太郎 (県LSC)
- 小野塚勝一 (県LSC)
- 二瓶千代喜 (にいがた)
- 丸山 齊 (ながおか)
- 長谷川慧輔 (みつけ)
- 渡辺五四六 (柏崎)



AED / 設置と講習会

9月2日(火)、勤労福祉会館の居住者を対象にAED(自動体外式除細動器)の講習会を開催しました。10年前からAEDの使用が一般市民にも認められるようになり、救急隊員が到着するまでの緊急救命処置として企業や家庭への普及が進んでいます。



この度、県労福協は、AEDを設置し居住者の皆さんからも協力いただき、器具の説明、機能、具体的な取り扱い方法など、業者(テルウェルと日本光電工業)の方々に指導員として、実践しながらの説明と熱心に質問するなど、大変意義のある講習会となりました。

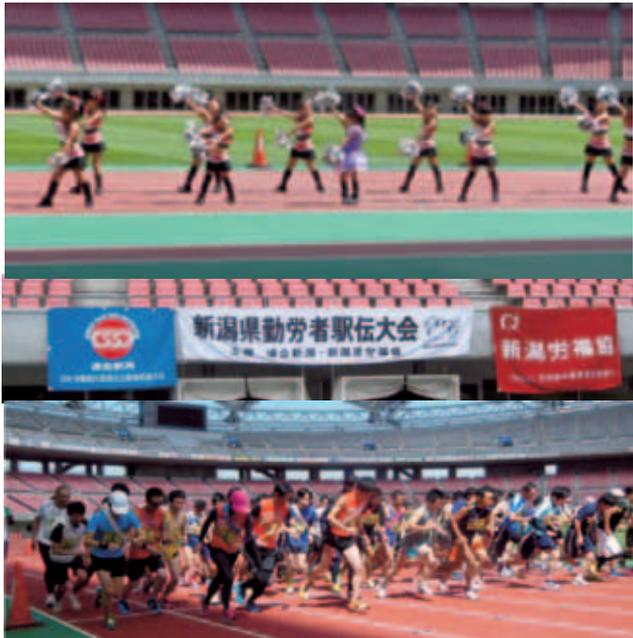
これで準備は万全ですが、できれば使用する機会のないことが一番です。



第24回新潟県駅伝大会

780名が参加

9月14日(日)、秋晴れの下、連合新潟・労福協主催の第24回新潟県勤労者駅伝大会が開催されました。今大会は、80チーム(780名の選手・スタッフ)が参加し、日頃、鍛えた健脚を競う熱いレースが繰り広げられました。大会は、山田事務局長(大会実行委員会)の挨拶に続き、来賓として新潟県労政雇用課・高橋課長祝辞の後、自治労やまびこDR Cチーム和田祥子さんによる選手宣誓を受けました。



その後、スタジオキャンドルの可愛い女の子たちのチアダンスでムードは一気に盛り上がり大会事務局長の号砲でスタートしました。

東日本大震災以降、様々な形による助け合い、支え合いが共感を生んでおり、伝統の勤労者駅伝大会は、職場の仲間が心を一つに力を合わせ、タスキをつなぎゴールをめざす大会となりました。結果は以下のとおりです。

<総合順位>

優勝	JP労組A	1時間24分18秒
準優勝	十日町市役所A	1時間26分09秒
3位	佐渡市役所	1時間26分56秒
4位	原信ナルスRCプレミア	1時間34分13秒
5位	工業高校職員	1時間35分02秒
6位	胎内市職にこにこRC-A	1時間35分04秒

<男女混合順位(女性2名以上が実走したチーム)>

1位	胎内市職にこにこRC-A	1時間35分04秒
2位	糸魚川市役所駅伝競走部	1時間37分17秒
3位	津南町役場	1時間38分24秒

新潟県の法定地域別最低賃金は
2014年10月4日～

715円

1時間あたり

下回っていたら、法律違反!!

あなたの賃金は最低賃金をクリアしていますか?
最低賃金を下回ると思ったら、「いまだに最低賃金を下回っていますか?」へお気軽にご相談を!

フリーダイヤル 0120-154-052

日本労働組合総連合会新潟県連合会 (連合新潟)

よりそいホットライン被災者支援専用ダイヤル新設のご案内と協力依頼

よりそいホットラインは、生活苦、心の悩み、暴力被害など、さまざまな悩みに24時間無料で電話相談できる国のモデル事業「よりそいホットライン」として、2014年4月からスタートしました。新潟県では、県労福協が中心となり、NPOや地域の市民活動団体などと連携し事業展開しています。

本来、この事業は、東日本大震災の被災地において、生きにくさ、暮らしにくさを抱える人たちに対し、いつでも電話による相談を受けて悩みを傾聴するとともに、必要に応じ面接相談や同行支援を実施して具体的な問題解決につなげることに、社会的包摂力の構築を図ることを目的に始まったものです。

しかし、被災された方の避難先は全国広がっています。今回、全国にお住いの被災された方のための「被災者専用ダイヤル」が新設されました。

現在、県内にも4300人の方が避難生活をされています。8月7日、県労福協は、県の被災者支援担当部署である県民生活環境部広域支援対策課に情報提供用のチラシを持ち込み、被災者支援専用ダイヤル回線が設置されたことを各市町村を通じ避難されている方周知していただくよう協力要請しました。



広域支援対策課長へ

新潟県日韓親善協会 平成26年度定期総会を開催



9月1日(月)、新潟東映ホテルにて、平成26年度日韓親善協会の定期総会(110人出席)が開催されました。

両国の国歌斉唱から始まった総会は、平成25年度の事業及び決算報告と平成26年度の事業及び予算が承認されました。役員の変更では、高橋会長から新たに県労福協の齋藤理事長が就任されました。

日韓親善協会の事務所は、これまで大韓民国国民団新潟地方本部内にありましたが、10月に労福協へ移転することも含め承認されました。



総会の終了後、両国の文化交流として、韓国の民族音楽・サムルノリ(4つの打楽器で構成されるアンサンブルで打楽器演奏を中心とする韓国の伝統音楽)と重要無形文化財総合指定保持者、大友順先生による能楽・宝生流「舞囃子」の音楽交流、その後の懇親会へと移りました。

日韓政府の関係は改善に向けて努力はされていますが、国交50年を目前に控え東アジア地域における新たな関係の構築のためにも、地方や民間レベルの更なる友好と親善を深めることを目的とした親善協会の事業活動が再確認されました。

チャリティー講演会開催のご案内

講師：水谷修氏

「今、新潟に届けたい 夜回り先生からのメッセージ」として、昨今薬物汚染・非行・心の問題が中・高校生等若年層までに広がっています。このような社会問題に対し、中学生をはじめとした若者の更生と非行防止、薬物汚染の拡大予防に精力的に活動している水谷修氏から、新潟県内4カ所を回り「メッセージ」を届けていただくことにしました。

開催日	会場	問い合わせ先 (ろうきん各支店地区育成会)
11月 5日 (水)	燕三条地場産センター	ろうきん三条支店地区育成会 ☎0256-34-3521
11月 7日 (金)	加茂文化会館	ろうきん加茂支店地区育成会 ☎0256-53-2371
11月12日 (水)	柏崎市文化会館アルフォーレ	ろうきん柏崎支店地区育成会 ☎0257-22-6155
11月13日 (木)	新潟ユニソンプラザ	ろうきん山の下支店地区育成会 ※入場整理券は完売しました。 ☎025-273-6181

《入場料》300円(全額チャリティーとして寄付いたします。) ※事前に入場整理券必要となります。《開演時間》18時30分～

講師：桑田真澄氏

野球の名門校PL学園で1年からエースとして活躍、その後読売巨人軍へ入団。米大リーグにも挑戦し2008年3月現役引退。夢への挑戦を続け、実現してきた桑田氏の経験をもとにした講演をしていただきます。

開催日	会場	問い合わせ先 (ろうきん各支店地区育成会)
11月20日 (木)	長岡市立劇場	ろうきん長岡支店地区育成会 ☎0258-33-6318

《入場料》300円(全額チャリティーとして寄付いたします。) ※事前に入場整理券必要となります。《開演時間》19時00分～

ワーク&ライフセミナー in 県央

た。確認されまし
ていくことが
拡にさら
ワークのウイ
つながったネッ
つなを機に
潮に盛り上
チと会場は最
&1分間スピー
介、奨励金授与
活動団体の紹
と移し、地域
の宴『千翔』へ

第三部は、交流懇親会場をセレクト二ホール・四季
O、市民活動団体の代表から現場での実践報告をい
ただきました。どの団体も非常に立派な活動を展開
知ることができました。

9月27日(土)、県労福協が今年度から三条市より
指定管理受託している勤労青少年ホーム(ソレイ
ユ)において、『2014ワーク&ライフセミナー
in 県央』が120名参加する中で開催されました。
県央地区労福協・宮内実行委員長のあいさつに続
き、第一部として、くびき野NPOサポートセン
ターの大島誠氏から、『地域おこし まちおこし
連帯・協同でつくる福祉社会の実現』をテーマに、
豊かな地域社会の仕組みづくりとそのためにより
どのようにつながっていかねければならないか等、
大変示唆に富んだお話をいただきました。



大事な家族のためにもう一度確認

※電話の近くに貼っておいてください。



電話でこの言葉を言われたら それは…

詐欺です!!

あなたの大事なお金
だまし盗られます!!

詐欺!! カゼを引いて声がおかしい!
携帯電話の番号が変わった!

詐欺!! 名義だけ貸してください!
必ずもうかります!

詐欺!! パンフレット
届いていませんか!

詐欺!! 過去の被害を
回復します!

詐欺!! ロト6の当選番号を
教えます!

詐欺!! レターパック・宅配便で
現金を送ってください!



ひとりで悩まないで!
ライフサポートセンターへ相談を!

日常生活で起こるトラブルや悩みごと、困ったこと。誰かに聞いて
欲しい。どこに相談したらいいんだろう…ライフサポートセンター
は、連合、労福協、ろうきん、全労済などによる共同事業で、専門家
等の協力も得ながら、生活や労働に関する様々な問題の解決策を
一緒に考えます。ぜひ、お気軽にご相談ください。

※相談内容、相談方法など、詳しくはお近くのライフサポートセンターまで
お尋ねください。
※ライフサポートセンターの名称は地域によって異なります。



『にいがた食の映画祭』 フードバンクにいがた 映画を通じて新潟から「食」を考える！！

10月13日(月)、クロスパルにいがた・映像ホールにて、「フードバンクにいがた」主催の映画を通じて新潟から「食」を考えるイベント『にいがた食の映画祭』が開催されました。

人間にとって、食事は体づくりを育むもっとも大切なものですが、その背景には、「食品廃棄」「健康と食事」「環境問題」等、様々な問題が混在しています。『にいがた食の映画祭』では、日常知ることのできない「食」の様々な側面について、映画を通じて学ぶため、食の問題にまつわる4本のドキュメンタリー映画を鑑賞し、その問題に携わる人や様々な立場のゲストを迎え、問題解決を図るトークショーを行いました。

1分間に17人が餓死！

飢餓で苦しむ人は10億人。世界に食料が足りないというより、**交通の整備、食べ物を届けられない。**

アフガニスタン、スーダン、ニジェール、エチオピア、ソマリア、ケニア、ガーナ、ジンバブエ、ルワンダ、ウガンダ、インド、カンボジア、パキスタン、ザンビア、北朝鮮



実行委員会スタッフ ←



当面の主な活動予定

- 10月21日(火) 中央労福協LSC研修会
- 22日(水) " "
- 23日(木) 新潟市PSC支援調整会議
- 25日(土) ワーク&ライフセミナーin佐渡
- 26日(日) 自殺対策シポゾウmin県央
- 29日(水) 第12回フードバンク役員会
- 30日(木) 第2回上越PS支援調整会議
- 11月 4日(火) 地域おこしセミナー
- 7日(金) 友好の旅「トルコ」～11日(第一班)
- 8日(土) 第1回生活困窮関連全国交流会
- 14日(金) 友好の旅「トルコ」～18日(第二班)
- 14日(金) 県労福協第2期福祉リーダー塾(後期)
- 15日(土) " "
- 17日(月) 社会的企業視察(西宮市)
- 18日(水) 県労福協事業団体会議
- 21日(金) 第102回県労福協理事会
- 27日(土) フードバンク三役会議
- 28日(金) 中央労福協加盟団体会議
- 29日(土) " "
- 12月 4日(日) 第200回東プロ労福協幹事会
- 11日(木) フードバンクにいがた運営委員会

＜トークショー＞

- 高見 優 (フードバンクにいがた代表)
- ラ・ポーカル (音楽活動加家)
- 武田 昌大 (若き農家集団代表)

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (2014年9月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高(千円)
無担保ローン	31,971,255
住宅ローン	124,999,135
合 計	156,970,390

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18
一般財団法人新潟県労働者信用基金協会

ZENROSAI NEWS

1514S018

こくみん共済

総合タイプ 医療安心タイプ キッズタイプ シニア医療タイプ

家族の“まさか”を支える安心の保障です。



全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とほとけある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済ホームページ <http://www.zenrosai.coop>

まさか

検索

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会



総合生協

新潟県総合生活協同組合

新潟県では、総合生協が全労済から業務を受託して実施しています。



臨時・パートではたらく組合員の皆様の「相談して良かった!」を(ろうきん)は実現します。



「ばあとな〜」の使い道は?

(ろうきん)がもっと身近に

ばあとな〜誕生



マイカーローン



教育ローン



フリーローン



リフォームローン

etc.

ご本人のみでお申込みいただけます!
はじめての方もお気軽にご相談ください!

※資金用途として、負債整理資金は除きます。 ※金利・返済期間は通常の商品と同じ内容になります。
※店頭で返済額の試算をいたします。 ※審査結果によりご希望に添えない場合があります。
※保証人をご用意いただくことにより、ご利用いただける場合があります。
※詳細はお近くの(ろうきん)にお問い合わせください。



新潟県労働金庫

フリーダイヤル 0120-191-880(平日9:00~17:00)